

神恵内村地域漁業振興経営多角化実証計画の概要

計画概要

現状と課題

- ・神恵内地域では、近年、海洋環境の変化による**ホタテガイ養殖（成貝・半成貝）の斃死が続いており、生産量が著しく減少し、漁家経営を圧迫**
- ・成貝は村の特産品として道の駅で販売しているが、販売量を確保できず、余儀なく他地域産を販売
- ・半成貝は、養殖種苗として東北地方へ出荷や活ホタテとして韓国出荷の需要が高いが、斃死により生産量が著しく減少

取組内容

■ホタテガイ養殖(既存)とカキ養殖の複合経営の実証事業

○斃死が続く既存ホタテ養殖施設のうち2基をマガキ養殖施設に転換、ホタテガイ斃死による生産力の低迷を回避し、複数養殖により漁家所得の向上、経営安定を図る。

【H30年度補助事業】

- ・事業主体 古宇郡漁業協同組合
- ・事業内容 かき養殖施設 200m×2基、養殖資材 一式
- ・総事業費 5,625,087円
 - うち 道 2,604,000円
 - 神恵内村 1,302,000円
 - 参画漁業者 1,719,087円

期待される効果

(1) 養殖業を柱とした生産体制の構築

○ホタテガイ斃死による生産力の低迷を回避し、新たにカキ養殖を導入し、水揚増大

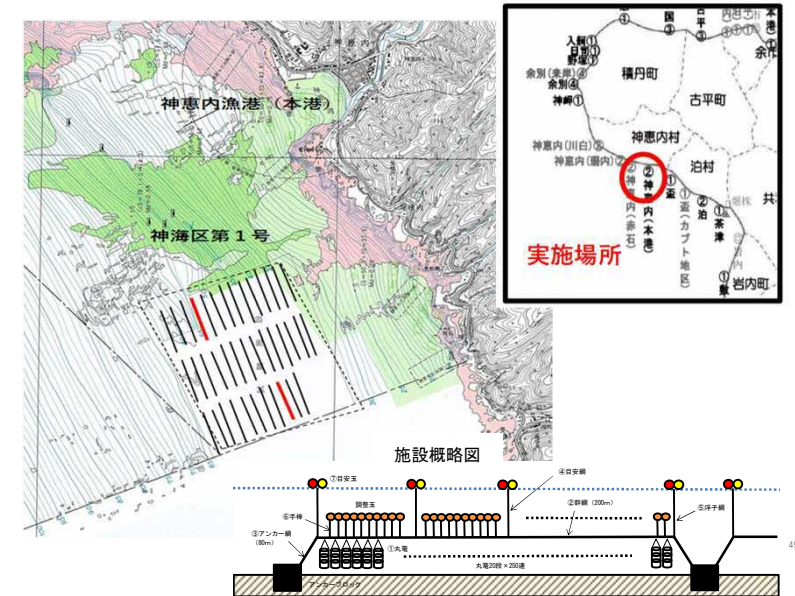
(2) 漁労作業の合理化・効率化

○養殖籠の設置や稚貝籠入れ、水揚げ等の作業は、漁業者グループにて行い、養殖種苗は2年貝マガキ（バラ）を用いることで、養殖期間を短縮、作業量を軽減

(3) 新たな特産品の販売により、所得向上

○道の駅や漁業者が経営する直販店での販売、イベントでの販売により、ホタテガイに代わる新たな村の特産品として販路拡大

事業位置図



漁業者直売店



漁業者直売店(販売状況)



道の駅 イベント会場



道の駅 イベント会場(販売状況)